

令和6年神奈川県議会本会議第1回定例会 国際文化観光・スポーツ常任委員会

令和6年3月18日

意見発表

◆西村くにこ委員

私は公明党神奈川県議会議員団を代表し、意見発表を行います。

まず、地域日本語教育の取組について申し上げます。今回報告されたかながわ国際施策推進指針（改定案）では、日本語教育の充実が位置づけられたとのことです。外籍県民の方々が安心して地域で暮らしていくためには、地域における日本語教育を進めていくことが重要です。

県では、今年度から外国人労働者向け日本語講座を実施するに当たり、綾瀬市商工会と連携して取り組まれました。今後は、所管の部局も国際文化観光局から産業労働局に移管し、より県内企業の関わりを重要視して、仕事と生活をサポートする日本語教育体制を目指されるものと理解しています。しかし、外籍県民の皆様を重層的にサポートするためには、教育委員会や保健福祉部局など様々な関係機関の連携が必要だと考えます。国際文化観光局が持つノウハウを生かし、連携を補佐して取組を推進されますよう求めておきます。

次に、観光施策について申し上げます。委員会では、県とかながわDMOとの連携強化及び役割分担を効果的に行う方向性が示され、インバウンド向け一元的対応窓口機能のかながわDMOへの実装などについて報告がありました。私からは、外国人観光客が順調に回復してきている中、羽田空港のトランジット客の県内誘致について質問いたしました。トランジットの限られた時間を想定すると、移動に時間がかかることが重要ですが、羽田空港の対岸に位置し、神奈川県の入り口に当たる川崎の魅力を発信することは、県内誘致を推進するためにも不可欠と考えます。電鉄を利用した川崎駅周辺の歴史スポットの散策や、徒歩やレンタサイクルでの多摩川スカイブリッジを活用した周遊、先行して実施されている工場や企業の見学、加えて川崎大師やキングスカイフロント、川崎競馬場など様々な魅力を組み込むこともできるのではないか。

既に大田区では商店街や銭湯を活用したトランジット集客の試みを始めており、東京都も上野や浅草へのトランジットツアーをうたっています。また、川崎市と川崎市観光協会も、旅行会社と連携したインバウンドツアーの企画を進めていると聞いています。短時間での有効な誘致ツアーの展開は、トランジットだけでなく、例えば東京から箱根に向かう途中などの隙間時間の集客、ひいては川崎だけでなく横浜やその他の地域など、面として神奈川県を楽しんでいただくことも期待できます。今後はトランジット客の県内誘致について、他地域に後れを取らないよう、研究、開発、実施されますよう要望します。

次に、スポーツ局関係、令和6年度一般会計当初予算歳出の主な事業から、アスリート育成事業費について申し上げます。県では、アスリートの裾野を広げるため、ジュニア期から優秀なタレントを育成するプログラムである、かながわジュニアチャレンジプロジェクトを昨年度から進めています。まだ始まつばかりであり、これから成果が蓄積されていくものと思います。事業に選ば

れる子供はごく少数ですが、事業の内容や結果などを広く発信するなど活用することができれば、多くの子供たちに事業の効果を広げることも可能だと思います。ホームページ等で事業内容や計測データなどを活用しやすく公表する仕組みを構築されるよう要望します。

次に、スポーツツーリズムの推進について申し上げます。本県では、自転車における県内の周遊を促進するサイクルツーリズムを推進していますが、エンジンのついた二輪車、オートバイをサイクルツーリズムと連携させることで、さらなる誘客につなげることができるのでと考えます。オートバイ愛好者の方々に伺うと、本県は、ツーリングをするには非常に魅力的なエリアだとのことです。一方で、駐輪可能な休憩場所の情報が欲しいとの御意見も頂いています。サイクルツーリズムのルートマップ等にオートバイ駐車場の情報なども掲載することができれば、利用者の幅も広がります。サイクリングとともにオートバイにも優しい神奈川となるよう、スポーツツーリズムの観点からも目配りをお願いいたします。

最後に、アーバンスポーツの推進について申し上げます。アーバンスポーツは、これまでのスポーツとは違う魅力を持っており、新たな層がアーバンスポーツを楽しむために本県を訪れることで地域の活性化が期待できます。先日、本県に拠点を置くブレイキンのパリオリンピック代表が内定しました。アーバンスポーツへの注目が大きく高まる中で、このチャンスを生かして効果的なプロモーションを推進すべきと考えます。例えば、本県ゆかりのオリンピアンをギフティングで応援するなど、県民が当事者として参加できる本県独自のポンサーシップモデルを実施できないでしょうか。パリオリンピックまであと4か月と迫っています。アーバンスポーツだけでなく、本県ゆかりの選手に光を当て、オリンピックの機運を醸成して、神奈川のスポーツを盛り上げていただくよう求めておきます。

以上、意見、要望を申し上げ、当委員会に付託された諸議案に賛成し、意見発表といたします。